

2015研修分科会

私立大学図書館協会東地区部会研究部 第7期



第3回：夏季見学ツアー 於：武蔵野美術大学

第4回

開催日：2015年10月1日(木)
 時間： 13時～17時
 会場：東京都市大学世田谷キャンパス
 図書館B1Fメディア学習室
 テーマ：機関リポジトリを知る
 課題： 非来館型サービス機能を考える

講演「機関リポジトリを知る」東京歯科大学図書館 阿部潤也氏

機関リポジトリという言葉は聞いた事がある方が多いと思いますが、なぜ大学図書館の業務として行なわれるようになったのかご存知でしょうか。研修分科会では、2011年から必ず毎年このテーマを取りあげてきました。「機関リポジトリ」について、その成り立ちや意義、概要を知ること、現代の大学図書館の役割・機能とは何かを考える上で欠かせないテーマだからです。今年もDRF等でご活躍の阿部潤也氏にご講演をお願いしました。

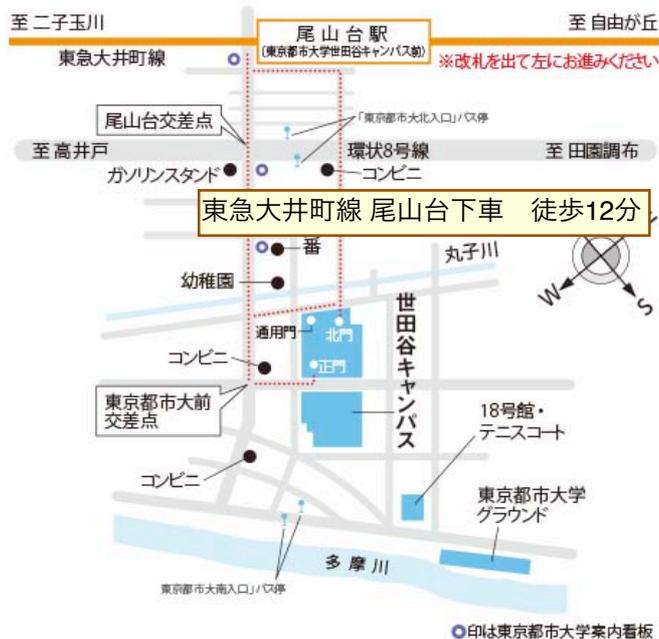
NIIの学術機関リポジトリ構築連携支援事業のサイトには「機関リポジトリとは、大学とその構成員が創造したデジ

タル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービスです」と書かれています (<http://www.nii.ac.jp/irp/> [2015.8.29アクセス])。多くの図書館でリポジトリへの取組みが始まっていますが、皆さんの図書館ではいかがでしょう。大学図書館の機能を、研究・教育に必要な学術情報を提供する事と捉え、オープンアクセスの動きの中のひとつの方法として「機関リポジトリ」を知ると、大学図書館は学術情報流通の根幹を担っているという使命が見えてきます。その様な視点で私たちの仕事を考えてみる機会にしたいと思います。

事前課題

第1回、第3回では場所としての図書館を考えてきましたが、今回は更に図書館の機能を掘り下げ、建物によらないサービスにスポットをあててみましょう。OPAC等を含め、オンサイトのサービスにどのようなものがあるでしょうか。

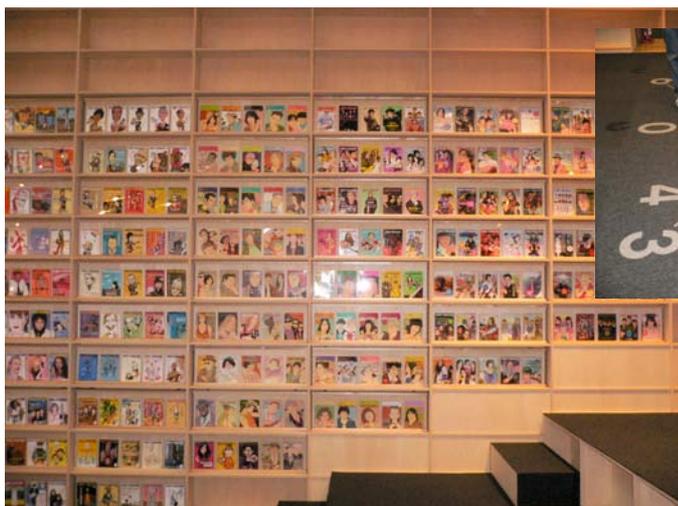
各自、機関リポジトリ等の非来館型サービス機能として、現在行っているものと、これから将来考えられるサービスを発表してもらいます。一人5分のプレゼン資料を作成してください。



アクセスマップ <http://www.tcu.ac.jp/access/index2.html>

Time Table	
13:00-14:30	講演：機関リポジトリを知る
14:30-14:45	ティーブレイク
14:45-16:20	事前課題発表・質疑応答
16:20-16:30	事務連絡
16:30-17:00	東京都市大学図書館見学

夏季見学ツアー 写真集



目からウロコのNDC 6門はボトルキャップ

武蔵野美術大学美術館・図書館

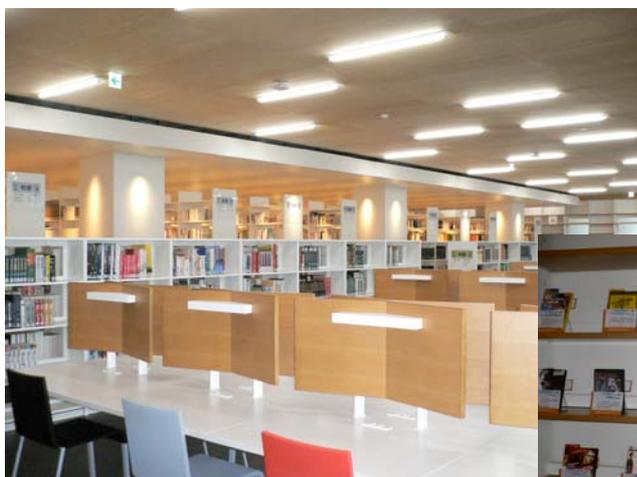
ブックタッチ, 凄い!
それを説明する古賀さんも
凄い!



東京学芸大学附属図書館 教科書コーナー



ラーニングcommonsとNOTE Cafe



東京経済大学図書館 閲覧室・開架書架



真っ白なブラウジングスペース



図書部展示